

今西事件シンポジウム

要申込
無料
ウェブ併用

逆転無罪判決を 総括する



SBS検証プロジェクトの設立によってSBS/AHTに関する本格的な検証が開始されてから8年が経過しました。SBS/AHT事件やそれらが依拠するSBS/AHT仮説そのものをめぐって日本でも議論の進展が見られ、SBS/AHT仮説の妥当性・科学性が争点化され、2018年以降には11の事件で無罪判決が確定しました。2024年11月28日に控訴審で逆転無罪判決が言い渡された「今西事件」(検察官が上告中)では、改めてSBS/AHT仮説の問題点に反省が迫られました。

この間、いわゆる「三徴候」に基づく起訴は行われなくなり、厚労省「子ども虐待対応の手引き」も改訂されて、三徴候に関する記述は削除されました。しかし、個々の事件では新たな「徴候」に基づく虐待診断・判断が行われ続けています。その最たる例が、今西貴大さんの事件です。

本シンポジウムでは、今西事件・逆転無罪判決を総括し、SBS/AHTをめぐる議論の現在地を振り返るとともに、今後の課題についての議論を深めます。

開催日

2025年 **2/28** (金)

時間

18:00～20:00 (開場 17:45)

場所

リファレンス大阪駅前第4ビル
貸会議室2307AB

〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1-11-4

ウェブ配信あります



プログラム

- ① 今西事件逆転無罪判決の位置づけ
川上博之(大阪弁護士会)
- ② 今西事件控訴審を医学的に検証する
司会 宇野裕明(大阪弁護士会)
秋田真志(大阪弁護士会)
小保内俊雅(多摩北部医療センター)
- ③ これまでを振り返って
司会 陳愛(大阪弁護士会)
川崎拓也(大阪弁護士会)
今西貴大(今西事件当事者)
ほか

共催 イノセンス・プロジェクト・ジャパン SBS検証プロジェクト
協力 今西事件弁護団 今西貴大さんを支援する会
日本国民救援会 JSPS科研費JP23K01152
IPJ学生ボランティア

参加お申込み・お問い合わせ →

<https://forms.gle/o76VnJJjBmLBgp1A>

